

一般社団法人日本医療・病院管理学会 第 422 回例会

会場：大阪医科薬科大学病院 歴史資料館 3F 会議室（阪急高槻市駅前）（※zoom 併用開催）

【認定単位の取得】	<ul style="list-style-type: none">・日本医師会生涯教育制度単位(2 時間)・日本医業経営コンサルタント協会継続研修認定・日本薬剤師研修センター研修認定制度(2 時間)・社会医学系専門医制度 K 単位 2 単位
【日 時】	2024 年 2 月 17 日(土) 14:00~16:20
【会 場】	大阪医科薬科大学病院 歴史資料館 3F 会議室（阪急高槻市駅前）（※zoom 併用開催）
【参加費】	無料
【お申し込み】	参加登録フォーム（下記フォームよりご入力ください） https://forms.gle/q3hkeXRsv89E2oSD6
【テーマ】	<p>データから支える医療の質向上に向けた取り組み</p> <p>昨今、医療の質向上のための体制整備事業が強く叫ばれている。医療の質の評価の公表・取り組みを行う流れが増えている中、データ抽出の負担や、質指標や定義のばらつきがあるのも課題となっている。本会においては、まずは各病院にとっての基幹システムである電子カルテデータを可視化するメリットを論じる。また可視化するためにデータ抽出の役割としての DWH(データウェアハウス)を用いて業務効率化を図る意義を紹介する。ひいては、データの抽出、可視化、解析をサイクリックに回していく事で、医療の質向上が実現していく姿を理解していくとこの上ない喜びである。</p>
【座 長】	大阪医科薬科大学 医療総合管理部 QI 管理室・診療情報管理室 室長・教授 上田 英一郎

<p>【プログラム】</p>	<p>14：00～14：05 開会の挨拶：シンポジウム趣旨，問題提起 大阪医科薬科大学 医療総合管理部 QI 管理室・診療情報管理室 室長・教授 上田 英一郎</p> <p>14：05～14：25 講演①電子カルテデータを可視化する 大阪医科薬科大学 医療総合管理部 診療情報管理室 課長 松本 吉史（診療情報管理士）</p> <p>14：25～14：45 講演②業務効率化のための戦略 株式会社 医用工学研究所 病院ソリューション事業本部 営業部 ソリューション提案課 課長 橋本 真吾</p> <p>（休憩 10 分）</p> <p>14：55～15：15 講演③情報を院内で共有することによるメリット 株式会社 医用工学研究所 代表取締役社長 北岡 義国</p> <p>15：15～15：35 講演④データを解析することによる医療の質向上 大阪医科薬科大学 医療総合管理部 QI 管理室・診療情報管理室 室長・教授 上田 英一郎</p> <p>15：35～16：05 総合討論</p> <p>16：05～16：15 まとめ 大阪医科薬科大学 医療総合管理部 QI 管理室・診療情報管理室 室長・教授 上田 英一郎</p> <p>16：15～16：20 閉会の挨拶</p>
<p>【問い合わせ先】</p>	<p>大阪医科薬科大学病院 QI 管理室 E-mail：ompuqi@ompu.ac.jp</p>